

# 岩沼駅前広場整備計画書

平成23年2月10日

## 目 次

1	はじめに	1
2	整備計画の目標及びコンセプト	2
3	交通処理施設の規模	3
4	動線計画	4
5	施設配置計画	5
6	施設整備計画	7
7	植栽計画	9
8	整備計画平面図及びイメージパース	9

岩 沼 市

# 1 はじめに

この計画書は、駅前広場の整備を進めるにあたり、岩沼駅前整備事業<sup>1</sup>で掲げた次の目的を「市民との協働」により達成することを目指し策定したものです。

## 岩 沼 駅 前 整 備 事 業 の 目 的

- (1) 岩沼駅の利用規模に見合った駅前広場空間の確保、歩車の分離及び公共交通機関と一般車等との動線分離による「安全性及び利便性の向上」を図る。
- (2) 岩沼駅前における商業・業務系施設の民間の活力による自然発生的な立地の誘引及び岩沼の顔としての良好な環境施設や緑地の整備による「空間全体の質的向上」を図る。

この目的を踏まえ、市では平成21年11月13日に学識経験者、岩沼駅利用者及び公募により選出された委員の計12名で組織する岩沼駅前広場整備計画検討委員会（会長 阿留多伎真人氏。以下「検討委員会」という。）を立ち上げ、1年の期間と14回の会議により岩沼駅前広場整備計画の検討を行っていただきました。

検討委員会では、検討報告書をまとめるにあたり、ワークショップの手法を取り入れていただくとともに、平成22年7月25日には、検討を行った駅前広場の案を実寸大で描き、その中を実際にバスや乗用車等を走らせるという、全国的に見ても例がない検証も実施しております。

さらに、その検証会に参加していただいた市民の皆さまを対象にしたアンケート調査の実施や、そのアンケートによる意見も踏まえた駅前広場の案の再検討も行い、平成22年11月2日に検討委員会から検討報告書として市に提出していただきました。

検討報告書では、「人間（安全、安心）」、「空間（花、緑、広場）」、「時間（岩沼らしさ）」の三つを駅前広場の整備コンセプトとし、整備計画としては、広場の東西に配置した単純化された2本の動線による交通処理を行い、また、その動線に挟まれた広場においては、イベントや物販ができ、更には、シンボルツリーなどの緑を配置した市民の交流の場となるスペースを確保した広場を提案していただいております。

また、検討報告書の提出とともに、各委員が、この駅前広場により、世代を超えた交流やイベント等を通したまちの活性化が進み、市民ひとり一人が郷土に誇りと愛着を持ち、かつ、市民が主体となるまちづくりが進むことを、さらに、この広場が「愛のあるまちいわぬま」を目指して「広げようふれあいの輪“愛i広場”」になるように願っていることを、市として、真摯に受け止めることもできました。

そのため、市では、この検討報告書を最大限に尊重し、岩沼駅前広場整備計画として策定するとともに、この計画書に基づき駅前広場の整備を推進するものいたします。

<sup>1</sup> 岩沼駅前整備事業：岩沼駅前の利便性および安全性の向上及び空間全体の質的向上を目指し、都市計画道路駅前大通線及び駅前広場並びに県道岩沼停車場線（県施行）の整備を行うものです。

## 2 整備計画の目標及びコンセプト

### (1) 整備計画の目標

岩沼駅前広場整備計画では、岩沼駅前整備事業の目的等を踏まえ、次のように整備計画の目標を掲げるものといたします。

#### 駅前広場整備計画の目標

- ① 市民生活における「安全性及び利便性の向上」
- ② 交流スペースを活用した「地域の活性化」
- ③ 市の玄関口に相応しい「岩沼らしさ」

### (2) 整備計画のコンセプト

岩沼駅前広場整備計画では、整備計画の目標を達成するために、「人間」、「空間」、「時間」を整備計画のコンセプトとして掲げるものといたします。

#### 人間・・・利用者の安全、安心

安全・安心については、道路や広場の路面勾配やバリアフリー化などにより、高齢者・障害者等を含むすべての人が快適に利用できる公共空間整備の推進を図ります。

- ① 道路部については、人と車を分離し安全を確保します。
- ② 高齢者や障害者の安全と安心の確保を優先します。
- ③ 交通形態については、一方通行を原則とし、走行する車の交差や分合流をできるだけ少なくします。

#### 空間・・・花、緑、広場（環境）

環境施設については、岩沼の顔としての良好なイメージの演出を図るため、緑地の整備やシンボルツリーなどを配置し、市民の交流の場となるスペースを確保した広場空間整備の推進を図ります。

- ① 集い、憩い、語らいの場を確保します。
- ② シンボルツリーや季節を感じる高木などの植栽を配置します。
- ③ 市民の交流の場となるイベント広場を確保し、賑わいの創出を図ります。

#### 時間・・・岩沼らしさ（歴史・神社等のイメージ）

岩沼市には、日本三稲荷のひとつである竹駒神社や金蛇水神社、そして奥の細道に詠われた二木の松などがあり、歴史的にも宿場町・門前町・城下町として多くの観光客を集めてきました。

また、江戸時代には、岩沼駅周辺に岩沼藩<sup>2</sup>の居城である岩沼城が存在しておりました。

そのようなことを踏まえ、駅前広場においては、歴史や神社等のイメージで岩沼らしさを創出します。

<sup>2</sup> 岩沼藩：1661年（寛文元年）に仙台藩主亀千代（2歳）の後見人として田村宗良が仙台藩から三万石を分け与えられて成立しましたが、1681年に2代目宗永（のちの建顕）が一関へ領地替えになり廃藩となっています。

### 3 交通処理施設の規模

岩沼駅前広場整備計画の交通処理施設については、都市計画決定を行った「広場の面積約5,300㎡」、「一方通行による交通処理」及び「駅前広場及び構成施設の規模・規格の設定資料（都市計画道路駅前大通線の都市計画決定資料。以下「都市計画決定資料」という。）」を踏まえ、駅前広場利用の特性や必要となる利用者へのサービスを考慮して、以下の規模に設定するものいたします。

#### (1) バス乗降場

バス乗降場については、現在の岩沼駅前におけるバスの利用状況及び駅広算定式<sup>3</sup>の結果から、市民バス1台、民間バス1台で、計2台分の乗降場を設置するものいたします。

#### (2) タクシー乗車場

タクシー乗車場については、駅広算定式の結果は1台であったが、現在の利用状況を考慮して、2台分の乗車場を設置するものいたします。

#### (3) タクシー降車場

タクシー降車場については、現在の利用状況と駅広算定式の結果に基づき、1台分の降車場を設置するものいたします。

#### (4) タクシープール

タクシープールについては、滞留客の計画交通量及び1台当りの平均乗車客数により算定した結果（都市計画決定資料による。）に基づき、最低6台分のスペースを設置するものとします。

#### (5) 一般車駐車場

一般車駐車場については、パークアンドライド及び駅を含めた周辺サービス施設への立寄りに対応できるように配慮するとともに、悪天候の時の待合せ場所としても利用できる台数を設置するものとします。

#### (6) 一般車乗降場

一般車乗降場については、送迎車台数及び平均停車時間から算定した結果（都市計画決定資料による。）から5台を基本といたしますが、悪天候時には周辺道路で待機する送迎車が非常に多いことなどを踏まえ、停車できるスペースについては、駅前広場内に可能な限り設置するものいたします。

交 通 処 理 施 設 規 模

施 設 名	計 画 台 数
バス乗降場	2台（市民バス・大型バス：各1台）
タクシー乗車場	2台
タクシー降車場	1台
タクシープール	6台
一般車駐車場	21台（身障者用2台含む）：平常時 13台（身障者用1台含む）：イベント開催時
一般車乗降場	6台程度停車可能、身障者用1台

<sup>3</sup> 駅前広場算定式：都市計画決定資料では、都市計画マニュアル（道路編）に基づき、小浪式（工学博士小浪博英氏が考案）を用い算定しています。

## 4 動線計画

岩沼駅前広場整備計画の広場の動線計画については、検討報告書において評価要素として用いた駅前広場に求められる機能・水準の評価結果を踏まえ、以下の理由から交通広場としての機能に優れる下図の動線計画を採用するものとしています。

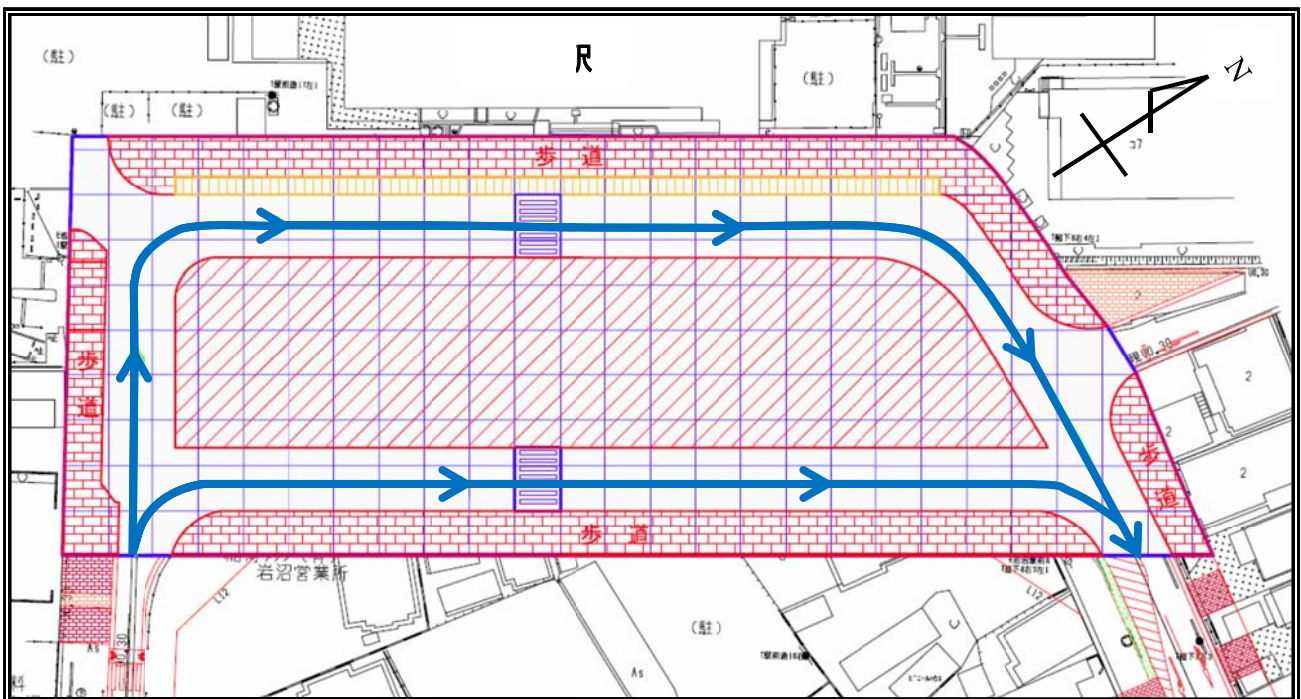
### 検討報告書で検討を行った評価要素一覧

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ①「歩行者の安全性」       | ⑤「広場東側民有地の沿道利用度」  |
| ②「広場面積の確保」       | ⑥「イベント自由度」        |
| ③「一般車乗降場の停車台数」   | ⑦「市道西大町線からのアクセス性」 |
| ④「公共交通乗降場の配置自由度」 |                   |

### ○この動線計画を評価した理由

- (1) 一般車と公共交通（バス・タクシー）が混在しないような動線とともに、交差点（車両の合流）の箇所数についても配慮を行った計画としています。
- (2) 公共交通を利用する歩行者の利便性及び広場東側民有地の建築基準法に基づく接道義務や沿道利用を考慮した計画としています。
- (3) 車道を駅舎側と東側（民地側）の2路線を配置し、横断歩道を2箇所設けるものの公共交通（バス・タクシー）と一般車を分離することにより動線の混在を解消し、わかりやすい自動車交通動線を実現している計画としています。
- (4) 駅前広場中央部の広場面積を十分に確保しており、この交流スペースを活用したイベント等による「地域の活性化」についても配慮した計画としています。

### 動 線 計 画



## 5 施設配置計画

岩沼駅前広場整備計画の広場の施設配置計画については、駅舎前西側車道を公共交通、民有地東側車道を一般車交通と分離し、次の施設配置方針及び施設形状計画より行うものいたします。

### (1) 施設配置方針

駅前広場の施設配置計画については、次に掲げる施設配置方針に基づき行うものいたします。

施設配置方針	
施設	内容
一般車駐車場 (身障者用駐車場含む)	<p>所用目的の鉄道利用者や駅周辺の商業施設の利用者等、待ち合いのための駐車場とし、出入り口は一般車交通道路側に設置します。</p> <p>○計画台数：21台（平常時は共有スペースを含みます。）</p> <p>※イベント開催時は共有スペースを除くため13台になります。</p>
一般車乗降場	<p>駅利用者を送迎する（キスアンドライド）ための停車帯とし、一般車交通道路に設置します。</p> <p>○計画台数：6台程度</p>
身障者用乗降場	<p>身障者が利用する送迎用乗降場とします。</p> <p>また、一般の送迎車両との交錯を避けるため、独立した停車スペースを確保し、駅舎前面に設置します。</p> <p>○計画台数：1台</p>
バス乗降場	<p>市民バス及び民間バス（企業の送迎バスや観光バス等）の乗降場とし、公共交通道路に設置します。</p> <p>また、大型車が停車することから見通しを考慮した位置に選定します。</p> <p>○計画台数：2台（市民バス、大型バス各1台）</p>
タクシー乗降場	<p>タクシーの乗車場及び降車場は、ともに独立したスペースを確保し、公共交通道路に設置します。</p> <p>○計画台数：乗車2台、降車1台</p>
タクシープール	<p>タクシープールからタクシー乗車場の状況が容易に視認できる位置の選定が必要であることから、広場の南側に設置します。</p> <p>○計画台数：6台</p>
広場	<p>駅利用者だけでなくイベント開催時には、多くの市民が利用できるスペースとします。</p> <p>また、駅前広場の安全な利用に配慮しつつ、樹木による緑陰提供や四季の変化を演出し、岩沼市の玄関口としてふさわしいスペースとして計画します。</p> <p>○計画面積：約1,000㎡（共有スペースを含みます。）</p>
共有スペース	<p>平日等の通常時は一般車駐車場として利用し、休日等におけるイベント開催時には広場としての利用ができるように配置します。</p> <p>○計画面積：約300㎡</p>

## (2) 施設形状計画

駅前広場の施設配置計画については、次に掲げる施設形状計画に基づき行うものいたします。

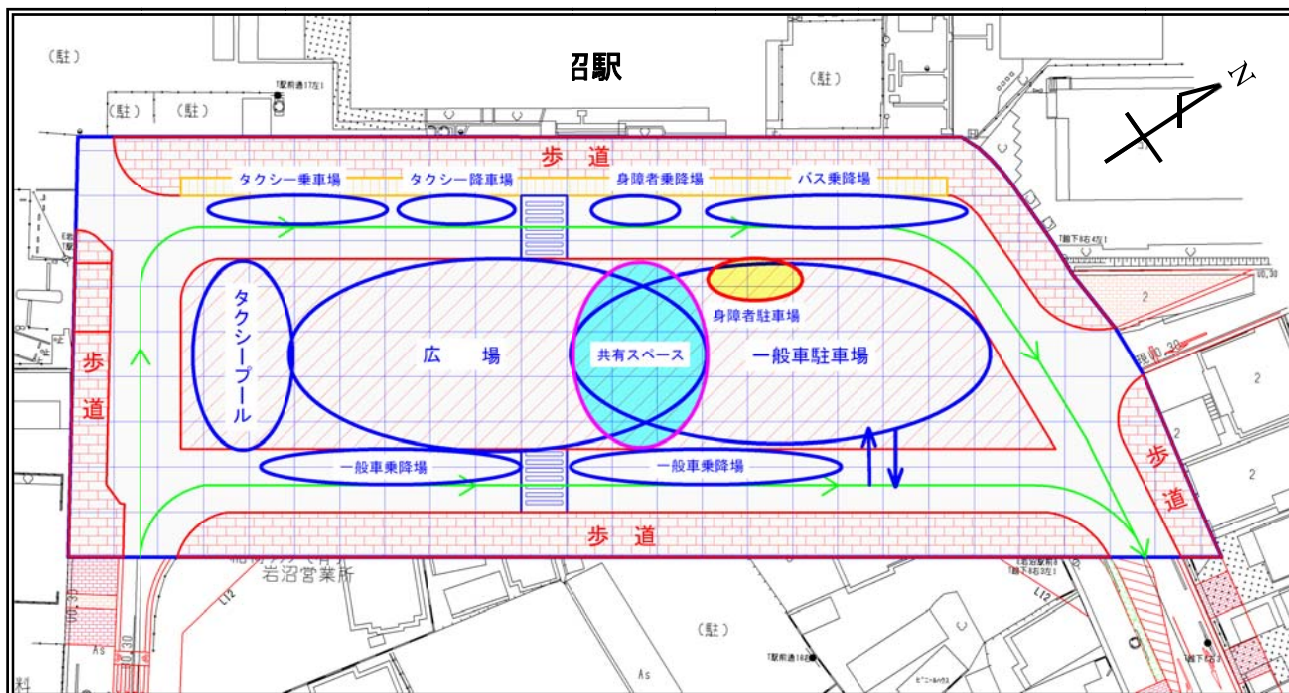
### 施設形状計画

施設名称	幅員、形状
車道	幅員4.0m (民有地側：一般車交通道路) 幅員4.0m (駅舎前面：公共交通道路)
路肩	幅員0.5m～0.6m
自転車歩行者道	幅員5.0m～6.5m
バス乗降場	幅員3.5m
タクシー乗降場	幅員3.5m
一般車乗降場	幅員2.5m
一般車駐車場駐車枠	幅員2.55m×長さ5.0m
一般車駐車場通路	幅員6.1m
横断歩道	幅員6.0m

## (3) 施設配置計画

施設配置計画については、施設配置方針及び施設形状計画を踏まえ、公共交通と一般車交通の自動車動線及び乗降スペースを明確に区分した下記の図により施設の配置を行うものいたします。

### 施設配置計画図






## 6 施設整備計画

岩沼駅前広場整備計画の広場の施設整備計画は、駅前広場が市の玄関口であり、市の第一印象を与える場となることや当市が自然に恵まれ歴史や文化的背景を有する都市であることを考慮し、交通処理機能を向上させることはもちろんのこと、来街者のみならず、市民にとっても「岩沼らしさ」が感じられるような施設整備を行うものとしたします。

また、この地に岩沼城（藩）が存在したことを踏まえながら、「岩沼らしさ」の歴史や神社等をイメージし、『和風モダン』を施設整備のデザインを行う上でのイメージとしたします。

### 施設整備計画

施設名称	整備計画内容
舗装 （歩道・広場）	<p>歩道及び広場の舗装については、次により行います。</p> <p>①歩道舗装</p> <p>歩道部の舗装イメージは、茶系色とします。            ※自転車と歩行者の通行帯を色で区分します。            ※環境にやさしい透水性のブロック系舗装等を行います。</p> <p>平板を使ったPR例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○駅舎南側の歩道部 竹駒神社をイメージできるもの等の岩沼らしいもの（鳥居、松、市木、市花等）</li> <li>○駅舎北側の歩道部 金蛇水神社をイメージできるもの等の岩沼らしいもの（牡丹、松、市木、市花等）</li> </ul> <p>②広場舗装</p> <p>広場部の舗装イメージは、石畳風の色あいとします。            ※環境にやさしい透水性のブロック系舗装等を行います。</p>
シェルター	<p>公共交通側（駅正面）に設置するシェルターは、白を基調とし、風や太平洋の波をイメージした曲線状の形状とします。</p> <p>※一般乗降場の一部に、乗降時の雨除け機能を持つシェルター等の設置を検討します。</p> 
ベンチ	<p>広場内に設置するベンチは、次のようなものとします。</p> <p>①高木の廻りにサークルベンチ</p>  <p>②移動可能なベンチ</p> <p>※防災機能を持つベンチも検討します。</p> 



<p>プランター</p>	<p>プランターは、イベント等の開催時に広場を有効に活用できるように可動式のものを設置します。</p> <p>※共有スペースの広場と一般車駐車場の間、広場の一般車乗降場側に設置します。</p>	
<p>植栽帯</p>	<p>植栽帯は、運転者の視界を妨げない高さとし、歩行者の横断防止や緑地空間の確保のため、一般車駐車場の外周、広場の西側と南側及びタクシールールの南側に低木等の植栽帯を設置します。</p>	
<p>照明灯</p>	<p>照明灯は、夜間における駅前広場の交通安全性及び利用の快適性を確保するため、必要照度を確保できるように配置します。</p> <p>また、照明灯のイメージは、竹駒神社等の寺社建築をモチーフにしたデザイン等（岩沼らしさ）を取り入れます。</p> <p>さらに、電気エネルギーについては、ソーラーや風力等の活用を、また、照明灯の灯具については、LED等の環境に配慮したものを検討します。</p>	
<p>案内板</p>	<p>案内板は、岩沼の観光名所や特産物等の情報を発信できるようにし、立っている人にも車椅子の人にも見やすく、かつ、アクセスしやすいユニバーサルデザインに配慮したものを設置します。</p> <p>また、案内板の表示については、英語、中国語及び韓国語等の表示の検討を行います。</p>	
<p>水飲み</p>	<p>水飲み場については、イベント開催時等にも利用できるようユニバーサルデザインに配慮したものを設置します。</p>	
<p>広場（設備）</p>	<p>広場には、イベント等を想定した次の設備等を設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント時のテント等を固定させるためのフック</li> <li>・ 犯罪を抑止するための防犯カメラ</li> <li>・ 七夕飾りやのぼり等を設置するためのさや管</li> <li>・ 電源供給設備</li> </ul>	

※この表のイラストや写真は、全て参考イメージです。

## 7 植栽計画

岩沼駅前広場整備計画の植栽計画は、広場中央部のシンボルツリー、広場及び一般車駐車場の植栽帯には高木を、広場及び一般車駐車場外周部の植栽帯には低木の植栽を行います。

なお、駅前広場内の植栽については、「岩沼らしさを感じられる」、「四季を感じられる」、「歴史を感じられる」をキーワードとして検討委員会から報告のあった、以下の植栽候補樹木一覧の中から、専門家並びに関係者等の意見を踏まえ選定するものとしたします。

植 栽 候 補 樹 木 一 覧

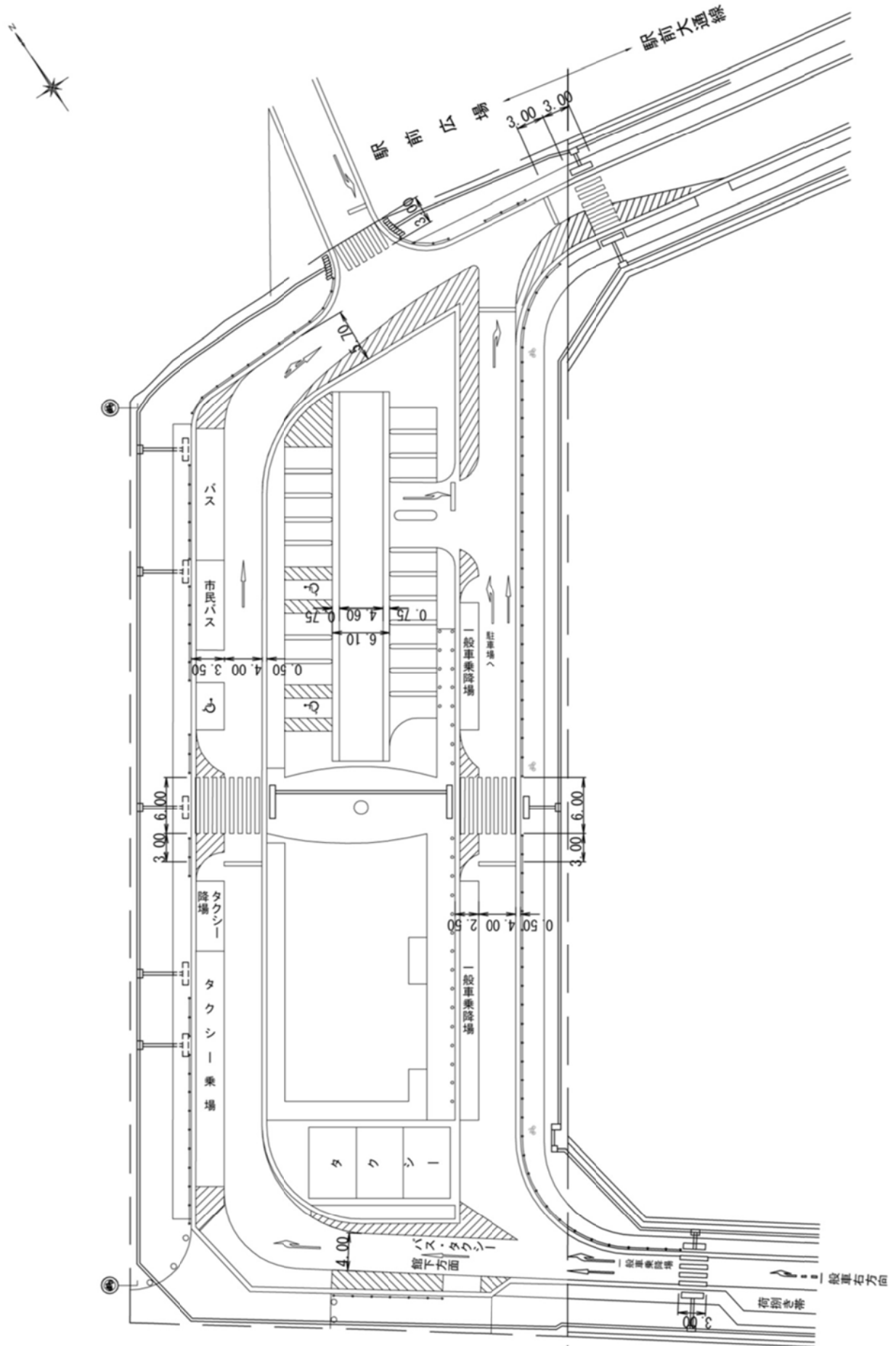
区 分	樹 木 名
シンボルツリー（1本）	カエデ、シラカシ、サルスベリ、キンモクセイ、クロマツ、ケヤキ、菩提樹、ポポー、モミの木、ハウチワ楓、ハナミズキ、サクラ、エゾヤマザクラ
高木（5本）	センリョウ、ハナミズキ、キンモクセイ、ツバキ、ハナカイドウ、サルスベリ、コナラ、クヌギ、コブシ、カエデ、ケヤキ、ナナカマド、フジ、杏
低木	キリシマツツジ、アジサイ、ハギ、ボケ、南天、ドウダンツツジ、アオキ、サツキ、ボタン、クチナシ、クルマツツジ、ミツバツツジ

※高木においては、シンボルツリーで選定されなかった樹種についても候補に含むものとします。

## 8 整備計画平面図及びイメージパース

岩沼駅前広場整備計画平面図及びイメージパースについては、整備計画の目標及びコンセプト、交通処理施設の規模、動線計画、施設配置計画、施設整備計画並びに植栽計画を踏まえ次のとおりといたします。

(1) 整備計画平面図



(2) 整備計画イメージパース

岩沼駅



(注意) この「整備イメージパース」については、見やすさを考慮し、P7の「施設整備計画」の施設の中で、一部記載していません。